

島根県立美術館 ニュース

# NEWS

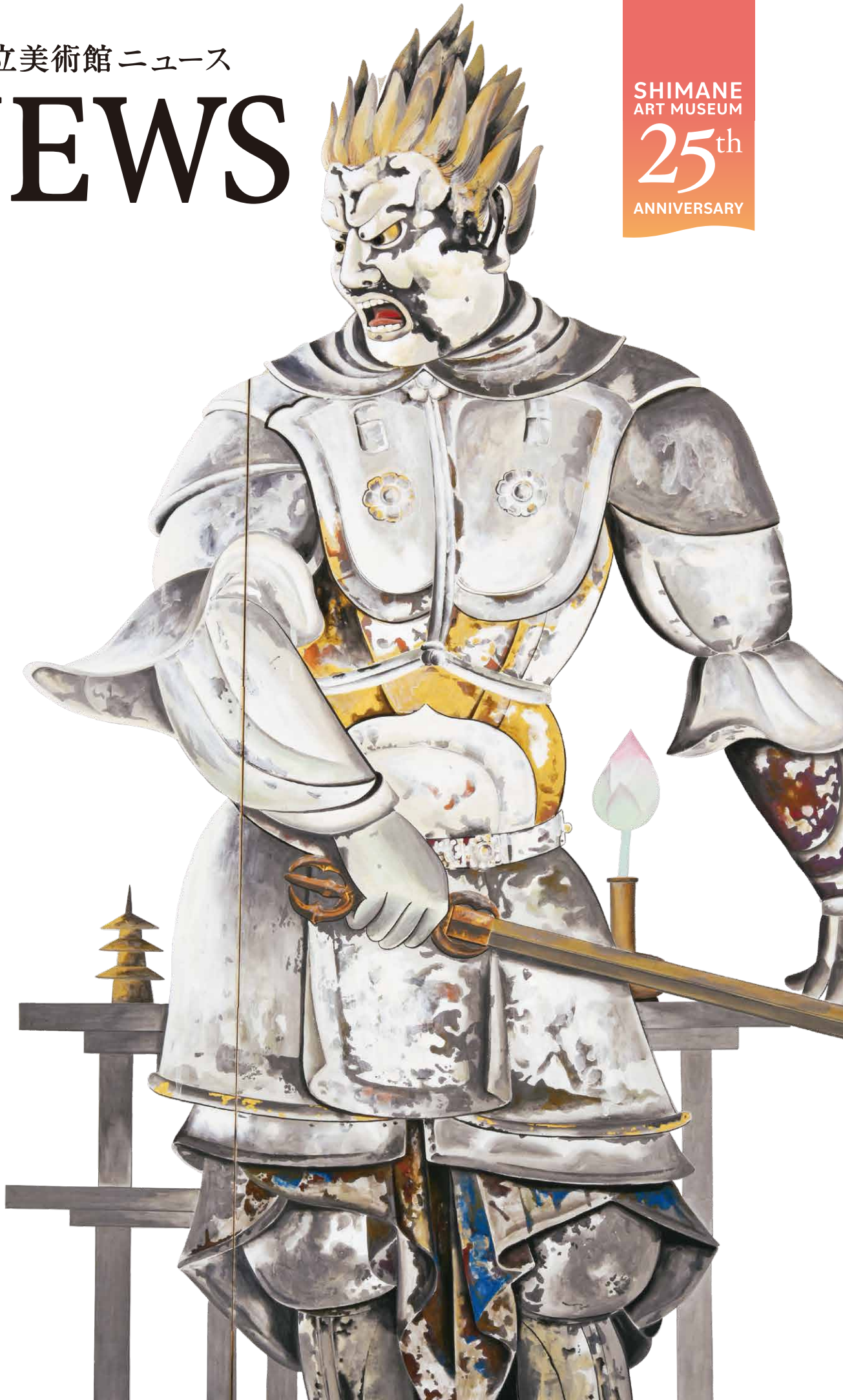
vol. 103

SHIMANE  
ART MUSEUM

25<sup>th</sup>

ANNIVERSARY

心、  
心を描く、  
美を出す。  
いだ



# 落合朗風

明朗美術連盟と  
目指した世界

藤田嗣治も畏れた異才、

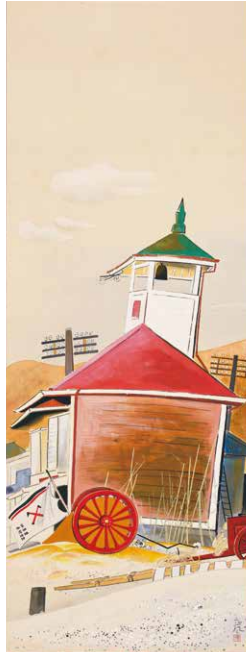
55年振りの大回顧展



《米屋》昭和時代、個人蔵



《御宿・大海〔海辺風景〕》昭和10(1935)年、個人蔵



## 心に生きた芸術を求めて

巧みのみの芸術それは浅薄なもので、技巧それ  
れに自己の霊的感<sup>たま</sup>を注<sup>せんぱく</sup>込<sup>たくみ</sup>めたのだ、自分はひたす  
ら心に生きた芸術、心の芸術を描き上<sup>あ</sup>げたい、  
即ち自分の新宗教画を作り上<sup>あ</sup>げたいと念じて居  
る(『尚美』第1巻第2号)

人の心に響く「美」を創造したい——落合  
朗風(1896-1937)は、信念の日本  
画家でした。言葉だけではありません。その  
姿勢は行動にもあらわれています。

例えば、彼が再興院展<sup>さいこういんてん</sup>に出品していた23歳  
頃の作品。入選作品が横山大観<sup>たかかん</sup>の目にとまり、  
大観の懇意<sup>こんい</sup>にしていた美術商が朗風作品を取  
り扱うことになりました。しかしながら、権  
力を笠にきた横柄な態度が気にいらなかった  
朗風は、その美術商のもとから自らの作品を  
引きあげてしまいました。

画壇デビューを果たしたばかりの若手の行



《室内静物A》(部分)昭和8(1933)年、平田本陣記念館蔵  
※掲載作品の作者は全て落合朗風

動とは到底信じられません。美術商はもちろ  
んのこと、仲介した横山大観の顔にも泥を塗  
る行為です。

ただ朗風にとって、自らの信念を曲げて生  
きるのには、死にも等しい行為でした。

## 明朗美術連盟とめざした世界

昭和9(1934)年、朗風は明朗美術連  
盟<sup>めい</sup>という絵画団体を創設します。この契機と  
なったのも、既成団体に納得<sup>めい</sup>のいかない部分  
があったからです。

当時、朗風は川端龍子<sup>かわはたりのうし</sup>の創設した青龍社<sup>せいりゅうしゃ</sup>  
に所属していました。昭和6(1931)年に《華  
厳伝》でデビューし、約2年後には同人に抜  
擢されるなど、彼の画才は極めて高く評価さ  
れていました。

ただ、団体のなかに絵だけでは生活できな  
い画家が在籍していたのも事実です。学園や  
師弟関係に左右されることなく、才能ある人々  
が「美」を純粹に追い求める環境をつくりた

## 関連企画

### 記念講演会 聴講無料

「落合朗風と昭和初期新日本画運動」

講師 菊屋吉生氏(山口大学名誉教授)

日時 10月13日(日)14:00～(13:30開場/約90分)

会場 ホール(190席・当日先着順)

### 連続美術講座 聴講無料

①「落合朗風が夢見た世界」

②「明朗美術連盟と目指した世界」

講師 五味俊晶(当館主任学芸員)

日時 ①10月12日(土)、②10月27日(日)

各日14:00～(13:30開場/約90分)

会場 ①・②ともホール(190席・当日先着順)

### ギャラリートーク 要企画展観覧料

当館担当学芸員による展示解説

日時 11月3日(日・祝)14:00～(約60分)

会場 企画展示室

## 島根県立美術館×平田本陣記念館 松江×平田スタンプラリー

要企画展観覧料

本展と平田本陣記念館「朗風と大雲展」(9月20日(金)～11月10日(日))の両方の展覧会をご覧の先着2,000名様にオリジナルポストカードをプレゼント。(全4種)

※プレゼントがなくなり次第終了 ※おひとり様1枚

2024年  
9月20日(金)→11月4日(月)

開館時間 [9月]10:00～日没後30分

[10・11月]10:00～18:30(展示室への入場は閉館の30分前まで)

休館日 火曜日

落合朗風は、大正から昭和初期にかけて活躍した日本画家。昭和9年には明朗美術連盟を創設し、「日本画」の既成概念に一石を投じる先駆的作品を次々に発表していきました。朗風とその仲間たちがどのような未来を夢みて活動していたのか、ゆかりの深い島根の地において考えます。

観覧料

オンラインチケット・ローソンチケット[企画展+コレクション展セット]

一般:1,100円、大学生:800円、小中高生:400円

当日券[企画展+コレクション展セット]

一般:1,450(1,160)円、大学生:1,100(880)円、小中高生:500(400)円

●オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます(ローソンチケット/Lコード61614)●未就学児無料●( )は20名以上の団体料金●小・中・高生の学校教育活動での観覧は無料●身体障害者手帳(障害者手帳 アプリ:ミライID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

主催 島根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ、山陰中央新報社、NHK松江放送局、SPSしまねグループ

後援 朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日新聞社、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



《人魚》(右隻)昭和9(1934)年、当館蔵

い——朗風は青龍社を脱退し、共済組合を完備した美術団体・明朗美術連盟を自ら立ちあげました。

朗風の高い理想には、画壇も含めて多くの反発が起こりました。連盟活動を行っていくなかで、古くからの友人であった不染鉄などと道をたがうこともありました。

しかしながら、朗風のもとには素養のある若い芸術家達が集まってきました。《原爆の凶》(原爆の凶丸木美術館)で広く知られる丸木位里もその一人です。残念ながら朗風は連盟設立の3年後に40歳で早逝してしまいますが、朗風の信念は多くの人々を確かに動かして始めていました。

### 恐ろしい将来を持つ日本画家

洋画家の藤田嗣治も、落合朗風の情熱に動かされた一人です。朗風と意気投合した嗣治は、連盟の展覧会へ出品するための作品を制作するだけでなく、若き連盟員達の指導も朗風とともに行って行っていました。新たな時代の絵画表現を求めて、二人で準備を進めていったのです。

そんな矢先、朗風は突然亡くなってしまいます。個展を開催していた朝鮮において訃報を耳にした嗣治は、京城駅のプラットホームで人目もはばからずに涙を流したといわれています。嗣治は朗風を以下のように評しました。

既に氏は成功者であり明朗美術の総師匠であり乍ら、恰も一画学生の様な純情と元氣と若さが私には嬉しかった。欲を棄て、只製作の難業を一つの楽しみとして居た、朗風君は恐ろしい将来を持つ日本画壇の一人であった。何んと言っても早く死なせた事は惜しんでも余りある事である(『落合朗風追慕』)

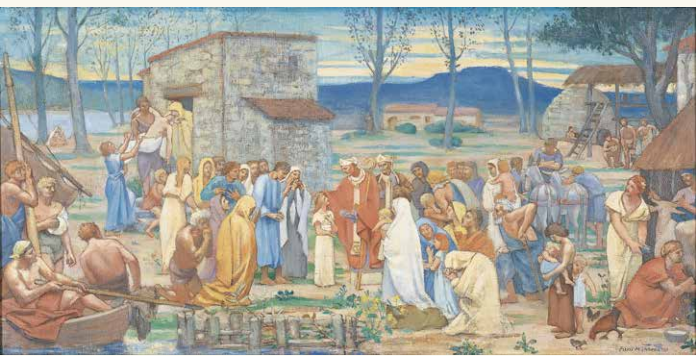
朗風の死から、約90年の歳月が経過しようとしています。「恐ろしい将来」性を内包していた落合朗風を、令和の時代の我々はどうのように評価するでしょうか。55年振りの大回顧展——仲間と追い求めた信念の形を、是非ご自身の眼で確かめてみてください。

(主任学芸員 五味俊晶)

# コレクション展

## 第2期 生誕200年 ピュヴィス・ド・シャヴァンヌとその時代

9月25日[水] - 2025年1月13日[月・祝]



ピエール・ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ《聖ジュヌヴィエーヴの幼少期》1875年頃

### 自然と人間の調和する アルカディアの光景

フランス19世紀を代表する壁画家ピエール・ピュヴィス・ド・シャヴァンヌ（1824-1898）。

一連の壁画装飾を主要建造物に次々と手掛け、ギリシア・ローマの古代神話を範としながら、画家自身の創意になる自然と人間の調和するアルカディア（理想郷）を現出してきました。日本近代洋画の礎を築いた黒田清輝にも影響を与え、日本の洋画の源流ともなっています。

島根県立美術館では、作品が市場に出ることの稀なピュヴィスの作品2点を、幸運にも開館当初に収蔵しました。また2014年には、国内で一度も個展が開催されていなかったこの画家の展覧会「水辺のアルカディア ピュヴィス・ド・シャヴァンヌの神話世界」を初めて開催することができました。夕陽の景勝地として知られる湖畔の美術館が、自然と人間が調和し、人々が集い憩う場になることを願い企画した展覧会です。

今年生誕200年となることを祝して、コレクションによる「ピュヴィス・ド・シャヴァンヌとその時代」を、ささやかではありますが開催いたします。  
(主任学芸員 葛谷典子)

#### 観覧料

一般 300円  
大学生 200円  
高校生以下 無料

○ミュージアムバスポートをご使用いただけます。  
○企画展と同日に観覧の場合は半額



原清《鉄釉馬文大壺》1987(昭和62)年

## 原清の陶芸

11月20日[水] - 2025年3月17日[月]

### 「鉄釉陶器」の「わざ」

原清は1936年の生まれ、簸川郡(現・出雲市)出身の陶芸家です。重要無形文化財「鉄釉陶器」保持者、いわゆる人間国宝に認定されています。これは原が体得した「鉄釉陶器」の「わざ」を、重要かつ継承すべき無形文化財として国が認めたことを意味します。

原は18歳で石黒宗麿の内弟子となり、のちに兄弟子であった清水卯一に師事しています。二人の師はともに同保持者に認定されているため、原は「鉄釉陶器」制作のエリートと言えるでしょう。

では、「鉄釉陶器」とはどんなものでしょうか。それは、鉄で色を出す釉薬をかけた陶器を指します。一般に釉薬中に含まれる鉄が1%程度だと薄い黄色に、5%程度で褐色に、それ以上になると赤茶色の柿釉になると言われます。

原は《鉄釉馬文大壺》に見られるような、黒色と褐色の鉄釉の二重かけにより馬や草花などの模様を表す作風で、高い評価を得ました。鉄釉陶器をはじめとする原の様々な作品をご紹介します。

(主任学芸員 山本麻代)

展示室 1 水辺の展示室

### 第4期

9月4日[水] - 11月4日[月・振休]

### 第5期

11月6日[水] - 12月23日[月]

当館の所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。近世絵画・日本画は今年度、9期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示(一部展示替えあり)の予定です。



アルベール・マルケ《赤いヨット、オーディエルヌ》1928年

### 第6期

12月25日[水] - 2025年2月3日[月]

展示室 1 近世絵画 日本画

### 第4期 大雲と朗風

9月4日[水] - 11月4日[月・振休]



小村大雲《猛虎図屏風》(左隻)、明治時代後期、個人蔵

落合朗風に画法の基礎を教えた小村大雲。二人の作品を展示することにより、画風の違いを考えていきます。同時期に開催する企画展「落合朗風」の関連展示です。

### 第5期

11月6日[水] - 12月23日[月]

### 第6期

12月25日[水] - 2025年2月3日[月]

展示室 1 西洋絵画 洋画

### 第2期 生誕200年

### ピュヴィス・ド・シャヴァンヌとその時代

9月25日[水] - 2025年1月13日[月・祝]



木村義男《新市川風景》1925(大正14)年

### 第3期

### 島根ゆかりの洋画家たち

2025年1月15日[水] - 5月12日[月]

石橋和訓や木村義男など本県出身の画家から、小泉清(小泉八雲・セツの三男)など家族のつながりで島根にゆかりのある画家たちまで、当館コレクションにより紹介します。



《楽山焼 色絵花卉人物文瓠形瓶》明治時代

展示室 3 工芸

### 明治以降の出雲焼

7月10日[水] - 11月18日[月]

### 原清の陶芸

11月20日[水] - 2025年3月17日[月]

展示室 2 北齋

### 北齋コレクション第6期

10月16日[水] - 11月11日[月]

### 北齋コレクション第7期

11月13日[水] - 12月9日[月]

コレクション展示室2(「北齋展示室」)では、当館が誇る北齋コレクション・約1,600件の中から、北齋の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をいつでもご覧いただけます。



葛飾北齋《鬼児嶋弥太郎 西院赤坊主》(永田コレクション)天保4~5(1833~34)年頃[第7期展示]

### 北齋コレクション第8期

12月11日[水] - 2025年1月13日[月・祝]

### 北齋コレクション第9期

2025年1月15日[水] - 2月17日[月]



奈良原一高《聖マルコ広場の稲妻 テンペスト(ヴェネツィアの夜)より》©Ikko Narahara Archives

展示室 4 写真

### 受贈記念Ⅲ

### 奈良原一高 ヴェネツィアの光と闇

10月17日[木] - 2025年1月13日[月・祝]

島根県立美術館の奈良原一高コレクションは、世界一の収蔵品数を誇るコレクションとなりました。作家没後ご遺族より寄贈された作品のお披露目・第三弾です。

### 島根県立美術館 写真コレクションの30年

2025年1月16日[木] - 4月14日[月]

展示室 5 彫刻

### 青木世一 —ベニヤの世界

11月7日[木] - 2025年1月20日[月]

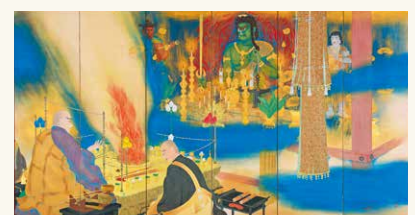


青木世一《ゴッホ=キッパ「ゴッホの部屋」ver.3》2002(平成14)年

展示室 5 企画展

### 落合朗風 第2会場 落合朗風と目指した世界

9月20日[金] - 11月4日[月・振休]



朝井観波《法の護摩》(右隻)、大正9(1920)年、東京・帝釈天題経寺蔵

落合朗風展の第5章にあたる展示室。朗風がどういった人々と交流をもち、そしてどのような作品を皆で制作していこうとしていたのか、実際の作例をもとに考えていきます。

### 関連企画

### 美術講座 聴講無料

講師 薦谷典子(当館主任学芸員)

日時 11月23日(土・祝)14:00~(13:30開場/約90分)

会場 ホール(190席/当日先着順)

演題 「受贈記念Ⅲ 奈良原一高 ヴェネツィアの光と闇」

## 企画展予告

# 第71回 日本伝統工芸展

日本伝統工芸展は、日本の風土がはぐくんだ、世界的にも注目を集める優れた工芸技術の保護育成を目的に、昭和29年に創設されました。世界に誇る工芸技術を正しく受け継ぎ、さらに磨き、今日の暮らしに息づく新たな創造を目指し、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国で展覧されます。

今年で22回目を迎える松江会場では、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品41点をはじめ、受賞作16点、地元山陰(鳥根県・鳥取県)在住作家の入選作品16点など、約270点を一堂に展示いたします。

会期 12月11日(水)～12月25日(水)

会期中無休

観覧料 オンラインチケット

一般 700円

当日券

一般 800円、大学生 600円、高校生以下無料

●ミュージアムパスポートをご使用いただけます。●身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

主催 鳥根県、鳥根県立美術館、鳥根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまねグループ

後援 鳥取県、鳥取県教育委員会、公益財団法人しまね産業振興財団

助成 令和6年度文化庁補助事業



【陶芸】山本佳靖(鳥取県倉吉市)  
《焼締窯変壺》  
※第70回展出品作 NHK 会長賞

## 予告

# 第57回 鳥根県総合美術展 (県展)

観覧料無料



県民文化祭の美術展における入賞・入選作品等を展示します。

会期 11月16日(土)～11月24日(日)

時間 10時～18時30分(展示室への入場は18時まで)  
※最終日は10時～15時

休館日 11月19日(火)

主催 鳥根県文化団体連合会、鳥根県  
共催 公益財団法人しまね文化振興財団  
主管 鳥根日本画協会、鳥根書道会、鳥根洋画会、山光会、鳥根工芸連盟、  
鳥根写真作家協会、鳥根県写真家連盟、鳥根デザイン連盟、鳥根彫刻会

お問い合わせ先

【事務局】鳥根県文化国際課 電話:0852-22-6464

作品受付 11月7日(木) 県浜田合同庁舎503会議室  
9時～15時

11月9日(土) 鳥根県立美術館  
※時間・場所は部門ごとに異なります。

移動展 2025年3月6日(木)～3月9日(日)  
会場 鳥根県立石見美術館(益田市)

## オープニングセレモニー

### ご招待 参加無料 要事前申込

抽選で30名様を企画展「平山郁夫 未来へのキャラバン」のオープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテープカットにご参加いただけます。

日時 2025年1月17日(金)9時40分～  
(受付9時15分/約20分)

会場 ロビー

#### 申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

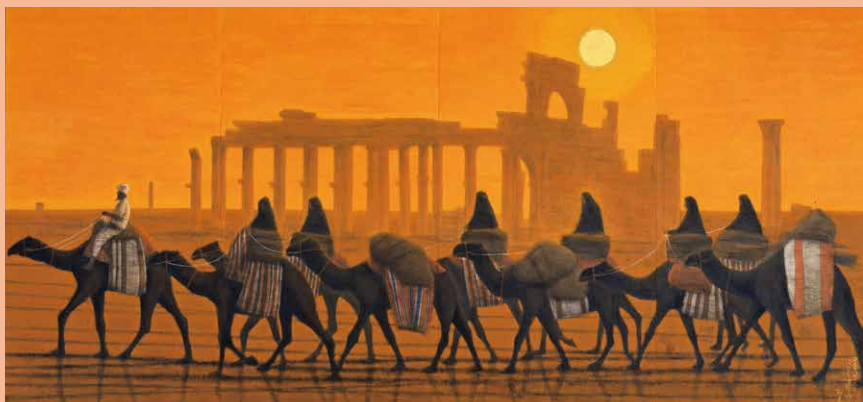
①お名前(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前(ふりがな)1名まで可

#### 申込先

〔ハガキ〕〒690-0049 松江市袖師町1-5  
鳥根県立美術館  
「平山郁夫」展  
オープニングセレモニーご招待係  
〔FAX〕0852-55-4714

#### 申込締切 2024年12月20日(金)当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。  
○お客様の個人情報は、招待状の発送(郵送)以外には利用いたしません。  
○当選者の発表は招待状の発送(2024年12月23日頃)をもってかえさせていただきます。(電話などでの個別のお問い合わせはできません。)



平山郁夫《パルミラ遺跡を行く朝》2006年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

## 企画展予告

# 平山郁夫

## 未来へのキャラバン

会期 2025年1月17日(金)～3月10日(月)

15歳のとき広島で被爆しながらも奇跡的に命をとりとめた平山郁夫は、画家を志し、平和への祈りのもと仏教に題材を求め、独自の日本画表現に到達しました。以後、シルクロードを中心に世界各地の文化遺産にも視野を広げ、人類の積み重ねた悠久の歴史をテーマに、壮大なスケールで数々の名作を生み出します。本展では日本画家としての活動に留まらない平山郁夫の多彩な業績を、山梨県北杜市に所在する平山郁夫シルクロード美術館のコレクションにより紹介いたします。平和を願って生涯を捧げた平山の想いを未来へつなぐ契機になれば幸いです。

# Event イベント情報

〈美術館キネマ〉 **鑑賞無料**

## ベネチア国際映画祭第1賞 「雪の女王」

(1957年/ソ連/63分/DVD上映/日本語吹き替え)

日時 11月17日(日)  
①10:30～②14:00～  
(各回30分前開場)  
会場 ホール  
(190席/当日先着順)



1957年ソ連製作のアニメーション「雪の女王」は、独特な美術スタイルと深い感情表現で世界中の観客を魅了しました。アンデルセンの名作童話を基に友情と勇気の物語が芸術性豊かな映像と共に展開され、子どもから大人まで楽しめる作品です。県展期間中にぜひご家族で一緒にお楽しみください。

## Christmas Concert クリスマスコンサート **鑑賞無料**

毎年好評の松江プラバ少年少女合唱隊によるクリスマスソングコンサートを開催いたします。ロビーに響き渡る清らかで美しい歌声をお楽しみください。

出演 松江プラバ少年少女合唱隊  
日時 12月22日(日)①13:00～②15:30～(各回30分前開場)  
会場 ロビー

※座席数に限りがある為、立見での鑑賞になる場合がございます。予めご了承ください。



## 島根県立美術館 子ども広報隊

**参加無料** **要事前申込**

美術館で広報のお仕事体験ができます。広報担当として、制服を着て、美術館の魅力を発見、発信する体験をしていただけます。



日時 12月15日(日)10:30～11:30  
対象 小学3・4年生  
定員 3名程度

### 子ども広報隊申込方法

参加ご希望の方は美術館ホームページのお問い合わせフォームの各欄に必要事項を入力し、送信してください。

- ①氏名(フリガナ)※保護者の方の氏名を入力
- ②メールアドレス
- ③件名「子ども広報隊」
- ④ご意見・お問い合わせ欄

参加される児童様の「氏名(フリガナ)」、「学年・年齢」、「住所」、「電話番号(保護者の連絡先)」

**お問い合わせフォーム** お申し込みはこちら▶



**申込締切** 11月30日(土)

**参加通知** 締切後3日以内に返信をお送りします。

※shimane.art-museum@sps.sgn.ne.jpを受信できるよう設定してください。  
※お申し込み多数の場合は抽選となります  
※当日お写真を撮影し、当館の公式SNS等へ公開予定です  
※お客様の個人情報は、当選・落選の連絡以外には、利用いたしません。

こどもといっしょの鑑賞優先時間

## かぞくの時間



### 「絵本とおでかけ展示室」

絵本のお話を聞いて、お話をヒントに作品鑑賞のお散歩に出かけます。

日時 毎月第3木曜日  
(10月17日、11月21日、12月19日、  
1月16日)

各日10:30～(約40分)

会場 キッズライブラリー、コレクション展示室

集合 キッズライブラリー(先着20名程度)

料金 コレクション展観覧料 一般300円、大学生200円、小中高生無料

※こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名までコレクション展観覧無料



### 毎日午前は「かぞくの時間」(10:00～12:00)

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

# Gallery

ギャラリー展示のご案内

会期	展覧会名	内容	問合せ先
10月 2日(水) - 10月 7日(月)	米寿記念 寺本富壽 水墨画個展	水墨画(掛軸、額入)の作品展示。	寺本 0852-25-4729
10月 9日(水) - 10月14日(月)	第13回 彩陽会展	彩陽会会員による作品展(油彩画、水彩画、水墨画、版画及び陶芸作品)。	小藤 090-4893-8197
10月 9日(水) - 10月14日(月)	ナカノカズオのソウルアート展	日本の心、精神性、魂、信仰心など内なる世界をデジタルアートとメッセージで伝える作品展。	中野 080-2931-5740
10月11日(金) - 10月13日(日)	WE LIVE HERE... 静かに... 優雅に...	ロバート・ベネット個展(油彩画、来待石、和紙コラージュ等の作品展示)。	塩谷 0852-27-6835
10月16日(水) - 10月21日(月)	第50回 みどりを守る児童画コンクール入賞作品展	県内小学校の児童を対象に農業や農村、お米、食べ物に関する図画作品の展示。	JALしまね金融企画課 0852-67-7741
10月16日(水) - 10月20日(日)	第22回 ありがとうの心を育む ぐるぐるアート展	小・中学校及び公民館などで描いたぐるぐるアート作品の展示。	岩田 090-7891-4162
10月16日(水) - 10月21日(月)	寺西進三郎(回顧展)・ツチエアキヒロ(現代アートコレクション展)	昭和を代表する洋画家 林武氏に師事した故寺西進三郎の風景画とツチエアキヒロの現代アートコレクション作品を同時展示。	土江 090-4925-7334
10月24日(水) - 10月27日(日)	第57回 島根県高校書道展	県内高校生の書道作品展。	浜田高等学校(近藤) 0855-22-0042
10月30日(水) - 11月 4日(月)	山下二美子 自撰展 - 島根からフクシマへ...	故郷の島根、ヒロシマ、フクシマ、市井の人、生と死、自然などを描き継いで64年。初期からの創作を辿る。	山下 090-7359-5322
11月16日(土) - 11月24日(日)	第57回 島根県 総合美術展(県展)	県民より応募された洋画、写真、デザインの優秀作品の展示。	島根県文化国際課 0852-22-6464
11月27日(水) - 12月 1日(日)	第60回記念 八洪水書展	八洪水会員による書道作品展。	赤木 0852-20-7033
12月 6日(金) - 12月 8日(日)	令和6年度 島根県障がい者アート作品展	島根県内の障がいのある方が創作したアート作品の展示。	島根県障がい者文化芸術活動支援センター アートベースしまね(担当: 渉) 080-5756-3225
12月13日(金) - 12月16日(日)	第57回 島根県高校美術展	島根県内の高校美術部員の作品展示。	益田高等学校(神山) 0856-22-0044
12月21日(水) - 12月22日(日)	JA共済小・中学生交通安全ポスター書道コンクール展示会	県内の小・中学校から募集した交通安全ポスター、書道の優秀作品の展示。	JA共済連島根 0852-31-3592
1月16日(水) - 1月20日(日)	令和6年度 全島根小・中学校図画作品展 島根県保育所(園)・幼稚園造形作品展	県内の小・中学校の児童生徒が創作した作品の展示。 幼稚園、保育所(園)に在籍する乳幼児の絵画作品の展示。	松江市立第三中学校(三桐) 0852-21-0531

○開室時間は通常10:00~18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。 ○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。  
○ギャラリーは一般の方に貸し出しているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



## 湖畔のレストラン「RACINE」

### 平田ゆかりの日本画家 「落合朗風」に因んだ 特別メニューをご用意しました

開館25周年オリジナル企画展「落合朗風  
明朗美術連盟と目指した世界」会期中、  
平田の名産品を使用したコースメニュー  
(¥3,500税込)をご用意しました。  
色彩豊かなランチメニューで、芸術の秋をご堪能ください。



[期間]~11月4日(月・振休) [提供時間]11:00~

- 営業時間 10:00~18:00 (美術館開館時間に準じます) ■レストラン電話 0852-25-6562
- ※状況により閉店時刻が早まる場合があります。
- ランチ[11:00~15:00] ■ディナー[17:00~]※完全予約制

## 年間パスポートのご案内

当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。プレゼントとしても購入いただけます。



※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

### 【会員特典】

企画展・コレクション展を何度でも  
ご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

- ①企画展観覧料 半額 (同伴者2名様まで)
- ②ミュージアムショップでの  
お買い物 5%OFF

③「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)

④提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリー美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、DIC川村記念美術館、山口県立美術館、山口県立秋美術館・浦上記念館

- ⑤レストランで  
ソフトクリーム200円
- ⑥来館ポイント5つで  
ワンドリンクサービス

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円  
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、無料観覧券を1枚進呈いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。

## Museum Shop

### 落合朗風展関連グッズを販売

ミュージアムショップでは「落合朗風展」開催に合わせて、公式展覧会図録(3,300円税込)を販売中です。このほか、展覧会の雰囲気にあわせたグッズも販売していますので、ぜひ店頭をご覧ください。



オンラインショップ  
<https://www.sam-museumshop.shop/>



### 島根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、美術館ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みください。



島根県立美術館



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5  
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714  
<https://www.shimane-art-museum.jp>